

138 TWILIGHT CONCERT

水谷 晃 (ヴァイオリン) & 加藤洋之 (ピアノ)
— ブゾーニ (没後 100 年) と J.S. バッハ

入場無料

2024 年 10 月 4 日 (金)

開演 18:30 (開場 18:00) 終演 19:30

三井住友銀行東館ライジング・スクエア 1 階 アース・ガーデン
千代田区丸の内 1-3-2 (地下鉄 大手町駅下車 C14 出口)




TWILIGHT CONCERT オンライン視聴について

本コンサートは、オンライン中継も行っています。

PC (Windows および Mac)、タブレット、スマートフォンにて
下記サイトへアクセスしご視聴いただけます。

※大量の通信容量が必要になるため、Wi-Fi 環境での視聴を推奨しています。

▼中継ページ URL <https://pr.iiij.ad.jp/live/>

▼中継ページ 二次元コード 

主催

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
<https://www.iiij.ad.jp/>



インターネット黎明期の 1992 年、日本でインターネットを普及させるという構想を持った技術者が集まり、IIJ は設立されました。誰もが安心して使える社会基盤としてインターネットが発展するよう、IIJ は卓越した技術力で、現在も技術開発を先導しています。

協賛

株式会社三井住友銀行 大手町エリア・本店営業部・東京営業部
<https://www.smbc.co.jp/>



制作協力

東京・春・音楽祭実行委員会
<https://www.tokyo-harusai.com/>



演奏

没後 100 年となる作曲家ブゾーニと、
ブゾーニも編曲を手がけた J.S. バッハの作品を、
東京都交響楽団のコンサートマスター・水谷 晃と、
深い知見に基づいた音楽づくりに定評のある
ピアニスト・加藤洋之がお届けします。

曲目

J.S. バッハ (ブゾーニ編) :

オルガン・コラール前奏曲「来たれ、異教徒の救い主よ」 BWV659

オルガン・コラール前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」 BWV645

J.S. バッハ :

ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 第 3 番 ホ長調 BWV1016

ブゾーニ :

ヴァイオリン・ソナタ 第 2 番 ホ短調 op.36a

TWILIGHT CONCERT について

コンサートホールから 大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」

大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうへの音楽」をテーマにしたコンサートをお届けしています。仕事のあと、あわただしかった一日のおわりに、心地よい音楽で心の充電をしませんか。CD やテレビでは味わえない、生の演奏の素晴らしさを感じてください。

水谷 晃 (ヴァイオリン)

大分市生まれ。3歳よりヴァイオリンを木村二郎氏に師事。父の転勤に伴い、5年間インドネシアに滞在。P. プラボウォ・S. エングの各氏および C.H. オーズィム氏のマスタークラスに選ばれ、師事する。帰国後、第56回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第一位。第12回日本モーツァルト音楽コンクール入賞。南山国際高等学校を経て、桐朋学園大学を首席で卒業。ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クワルテットに師事。在学中Verus String Quartetを結成し松尾学術振興財団より助成を受け、イェール大学夏期アカデミー・ノーフォーク室内楽フェスティバルに参加。その後、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。日本人のみで結成された弦楽四重奏団としては38年ぶりの入賞となった。2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。群馬県内での音楽活躍が評価され、第9回上毛芸術文化賞を受賞。

2013年4月～2023年3月まで東京交響楽団コンサートマスター。10年間の在団中、音楽監督ジョナサン・ノット氏指揮での「英雄の生涯」を含む多数のCDが発売。自身の音楽活動の柱としてアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、2021年2月より故郷・大分にて、音楽を通して地域や社会にスポットライトを当てるプロジェクトが始動。室内楽奏者として木曾音楽祭、ゆふいん音楽祭等、各地の音楽祭にも出演している。現在、オーケストラアンサンブル金沢客員コンサートマスター。母校・桐朋学園大学講師として後進の育成にも取り組んでいる。

加藤洋之 (ピアノ)

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学を卒業。学内にて安宅賞を受賞。大学院在学中の1990年にジュネーヴ国際音楽コンクール第3位入賞、ハンガリー国立リスト音楽院に留学してイシュトヴァン・ラントシュ氏に師事する。96年からはケルンに移りパヴェル・ギリロフ氏の下でさらに研鑽を積んだ。これまでにハンガリー国立交響楽団、ブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団、ブルガリア国立放送交響楽団、スウェーデン・ヘルシンボリ交響楽団、ウィーン・モーツァルト室内管弦楽団、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など内外のオーケストラと協演する他、ハンガリー国営TV、オーストリア国営放送、スイス・ロマンド放送、BBC、またウィーン芸術週間、プラハの春音楽祭、ルセ国際音楽祭、リムーザン国際室内楽フェスティバルなどへの出演等、ヨーロッパ各地でソリスト、室内楽奏者として活発な演奏活動を続けている。ヴァイオリンのライナー・キュッヒル氏とは99年以来、国内外で数多くの共演を重ね、2002年ウィグモア・ホールでのコンサートはThe Times 紙上で絶賛される。また、10年にはウィーン・ムジークフェラインにて3日間に亘るベートーヴェンのピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲演奏会が開催され大成功を収めた。19年にオクタヴィアレコードより初のソロCD『時間から空間へ〜ワーグナーへのオマージュ』がリリースされレコード芸術誌で特選盤となる。令和元年度文化庁芸術祭音楽部門 大賞を受賞。